

平成23年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	シゲンジャーキッズ ミニシティさがみはら	【 No. 1 】
申請団体	シゲンジャー・プロジェクト・ラボ	
事業目的等	<p>◇事業概要 麻溝地区の子ども青少年を対象に、環境を考えたまちづくりを子どもたち自身で考え、体験できる仮想のまち「シゲンジャーキッズ ミニシティさがみはら」を作り、イベントを開催するもの。</p> <p>◇事業の目的 麻溝地区の子ども青少年たちが、資源循環・環境共生をまちづくりに生かす活動を学ぶことで「まちづくり」に自ら参加していくことができる人をひとりでも多く育てるため。</p>	
交付決定日	平成23年 4月15日	
交付決定金額	407,000 円	(全体事業費 407,841 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども運営市民会議」の開催 9回 167人参加 ・「子どもまちづくり会議・商工会会議」の開催 各1回 76人参加 ・商店街(相模大野商店街、相模台商店街)視察 16人参加 ・子どものまちミニヨコハマシティ(横浜市)や子どものまち全国サミットinミニ京都(京都市)に参加 25人参加 ・「U19シンポジウムinヨコハマトリエンナーレ 2011」に参加 5人 ・イベント、仮想のまち「シゲンジャーキッズ ミニシティさがみはら」エンジョイ スマイル さがみ(12月11日)を開催 220人参加 <p>◇事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市の子どもたちのまちでの経験で子ども運営市民の主体性や大人と一緒にまちづくりをすることを学べるようになった。 ・子どものまちという仮想のまちではあるが、まちの課題を自ら見つけ、積極的に解決していこうという姿勢がつけられている。子ども自身が実際のまちへ自分たちの意見が活かされることを望んでいるようである。子どものまちのゴミ問題と、リアルのまちのゴミ問題を絡めてのブレインストーミングでは、実際のまちのゴミ問題を把握して解決法をきちんと考えられていた。相模女子大学の学生等からイベントの提案などや当日のボランティア、イベント後の振り返りなど協力していただいた。学生たちの意見を子どもたちは積極的に取り入れていた。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市の子どもたちのまちとの交流は、予算上決められた人数しか引率出来なかったが、子どもたちの主体性や社会参画するための力を子どもたち自身につけることができ、同時に大人たちと対等に話すことの出来る子どもを多く育てることも出来た。 ・子どものまちイベントを経験したことによって、仮想のまちとはいえ、大人以上にまちの課題を考え、解決していくことを積極的に行うことで、よりよいまちづくりが出来ることを気づかせることが出来た。今後、まちづくり会議などへ新しい考えを持つ市民として、子どもたちを参画させ、このまちのまちづくりに活かされることを望む。まちのゴミ問題も自分達の身近に感じさせることも出来た。 	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが仮想のまちづくりに向け、自分たちで話し合い、大人との意見交換や他都市の子どもたちのまちに関わる人たちとの交流などを経て、仮想のまちイベントの実施に結び付けられたことは、本事業に関わった子どもや大人にとって貴重な体験となったことであろう。今後は、子どもの視点を生かし、実際のまちづくりに関わる地域の大人たちとの交流等が図れるような事業展開も期待したい。 ・また、こうした事業を継続し、子どもたちがまちづくりに対して関心を持ち、ゴミ問題をはじめ、まちづくりの様々な問題に向き合い、自ら解決を図ろうとする姿勢を学ぶことで住民主体のまちづくりの将来の担い手につながることを期待したい。 	
備 考		

申請事業名	“いいまち あさみぞ” 安心見守りプロジェクト推進事業	【 No. 2 】
申請団体	“いいまち あさみぞ” 安心見守りプロジェクト実行委員会	
事業目的等	<p>◇事業概要</p> <p>地域から孤立する人、見守りを必要とする人などに対して、地域住民全体でゆるやかな見守りと(救急、災害など)緊急時の対応や継続的・個別的な見守りなどの必要性を共有するとともに、地域福祉にかかる様々な団体・活動などを連携させて、具体的な事業を展開するもの。</p> <p>◇事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域から孤立する人を見逃さない。 ・ 継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る。 ・ 緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う。 	
交付決定日	平成23年 8月18日	
交付決定金額	900,000 円	(全体事業費 1,198,975 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト推進事業(プロジェクト周知・気づき啓発事業、全戸マップ作成事業、安心グッズ作成・配布事業)の実施に当たり、実行委員会(3回)、実行委員会役員会(4回)、その他の打合せを行った。また、全戸マップの区域確認にあたり、各自治会長、民生委員との確認作業を行った。 ・ プロジェクト周知・気づき啓発事業・安心グッズ事業周知のチラシ7,000部を作成、配布した。気づき啓発ポスターは、200部作成・配布。 ・ 安心グッズ「安救さん」300個を作成・約200個を配布した。 ・ 全戸マップは、自治会区域・民生委員区域を示したものを作成した。 <p>◇事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で孤立しがちなひとり暮らし高齢者等を緩やかに見守る体制作りが徐々にではあるが構築され、地区社会福祉協議会を中心に地区自治会連合会、地区民生委員・児童委員協議会、老人クラブ等の団体が連携をとって地域を安心で住みやすいまちにすることへの共通認識が持てた。 ・ 地域福祉の担い手の育成や、要援護者支援など今後の課題の発見にも繋がった。 <p>◇自己評価</p> <p>地区社会福祉協議会を中心に、地区自治会連合会、地区民生委員・児童委員協議会、老人クラブ等が連携して地域福祉についてを考えることで、活動に広がりができ、また、情報を共有することが出来た。</p>	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社会福祉協議会を中心に地区自治会連合会、地区民生委員・児童委員協議会、老人クラブ等が実行委員会を組織し協力しながら事業を展開したことは、各団体の連携を深めるとともに、地域全体で安心見守りを進めているという住民へのアピールにもつながるため、地域にとって非常に意義ある事業として評価できる。 ・ プロジェクト全体の趣旨を推進する事業の更なる充実を図り、地域で孤立する方を生まない土壌づくりや継続的な見守り活動の充実、ひいてはプロジェクト全体の趣旨が住民一人ひとりに根づき、皆で支えあう地域づくりへと活動が発展することを期待する。 	
備 考		

申請事業名	麻溝地区防災マップ作成事業	【 No. 3 】
申請団体	麻溝地区自治会連合会	
事業目的等	<p>◇事業概要 地域住民の防災に対する関心は従来から高いが、東日本大震災以降、特に各種防災情報や発災時の避難所等に対するまとまった情報の提供が求められており、まちづくり会議の中でも防災情報等を一覧できるマップの必要性などが議論された。</p> <p>◇事業の目的 麻溝地区の地域防災力の向上のため、麻溝地区の防災情報〔災害に対してどのような状態にあるか、また災害時の対応（避難所など）〕等について、地域の皆さんに必要な情報が見やすく掲載されているマップを地域住民全体に提供する。</p>	
交付決定日	平成23年12月12日	
交付決定金額	378,000 円	（全体事業費 415,800 円）
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻溝地区の防災マップの作成に当たり、地区自治会連合会代表者・防災専門員による編集会議の開催。（3回） ・ 防災マップ……7, 200部の作成・配布。 <p>◇事業効果 麻溝地区の防災情報等が掲載されている防災マップを作成し、自治会加入・未加入世帯を問わず配布することにより、地域防災力の向上に向けた意識啓発と自治会未加入者への、自治会加入促進が図れた。</p> <p>◇自己評価 地域の防災情報や災害に備えての情報をマップにすることにより、地域住民全体が情報を共有し、地域防災に係る「自助力」の向上につながった。</p>	
市評価	<p>防災への関心が一層高まっている現在、本事業は住民にとって、より具体的な形での防災への備えを意識するきっかけになるとともに、地区自治会連合会が自治会への加入・未加入を問わず配布することで、自治会が積極的に地域全体の防災対策に取り組んでいることをアピールすることにもなり、地域防災力の向上に向けた土壌づくりや自治会加入促進の面で非常に効果的な事業であると評価できる。</p> <p>今後は、本事業をきっかけに自治会を中心とした住民総ぐるみでの地域防災力の向上につながる取組みが展開されることを期待するものである。</p>	
備考		

申請事業名	”いいまち あさみぞ”安全・安心協力員・地域声かけ運動	【 No. 4 】
申請団体	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	
事業目的等	<p>◇事業概要 安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部の防犯・交通両部会を中心に、地区内の防犯や交通安全などに関する定期的なパトロール、啓発活動などを行っているが、地区内での痴漢や自転車盗の多発、交通事故の発生などが後を絶たない状況があり、地域住民総ぐるみで防犯や交通安全に対する意識向上を図る。</p> <p>◇事業の目的 「麻溝地区の安全・安心は地域住民みんなの手で」の理念のもと、住民一人ひとりの地域防犯・交通安全意識の高揚と、気軽に参加できる啓発活動の実践のため、日常活動(犬の散歩、ウォーキングなど)の中で誰もが参加できるパトロールとして、「あさみぞ安全・安心協力員」への参加・賛同を呼びかけるもの。 また、地域みんなのあいさつが通いあう“いいまち あさみぞ”をめざし、声かけ運動を展開する。</p>	
交付決定日	平成23年12月12日	
交付決定金額	420,000 円	(全体事業費 421,848 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業・運動の周知チラシの作成、配布 自治会や安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部役員等を通じ、講習会への参加者募集。チラシ7,000部作成 ・ 安全・安心協力員講習会の開催 日時 平成24年2月26日(日)、午前10時30分から11時50分 内容 神奈川県警本部に新たに設置された生活安全サポート班の職員から地区内の犯罪発生状況や協力員の活動による効果と注意事項、南区内で「ながらパトロール」を実践されている方々から活動事例などの講習。 参加者 約90名 ・ 啓発グッズの作成、配布 啓発グッズ(防止、腕章など)の作成、講習会受講者を中心に配布。 帽子・腕章(各270着)、ミニトートバッグ(100個)作成 ・ 事業・運動への参加 協力員に配布した啓発グッズを身に付けていただき、日常活動(犬の散歩、ウォーキングなど)の中での啓発活動の実践。 <p>◇事業効果 講習会では、まちの安全・安心に対する地域の取組みの重要性を伝え、地域住民の意識高揚を図ることができた。講習会終了後、さらに80点ほど配布し、地区内でグッズの着用している方を多く確認することができた。</p> <p>◇自己評価 会議やイベント、地域情報紙等を利用し周知に関しては効率良く行うことができ、講習会当日は予想以上の参加者数だった。今後は、継続的な活動が必要であることを踏まえ、安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部の事業として浸透させつつ地域住民の方に向けてさらに協力を呼びかけていく。</p>	
市 評 価	<p>講習会が予想以上の参加者だったことや、その後の協力の申し出もあることから、地域住民誰もができる安全・安心に関する啓発活動として、日常活動の中で気軽に参加できる形「ながらパトロール」の取組みとしたことは評価できる。</p> <p>今後も、継続的に、より多くの方々に協力員への参加を呼びかけ、地域全体の安全・安心の意識の向上に向けて、浸透して欲しい活動と期待するものである。</p>	
備 考		